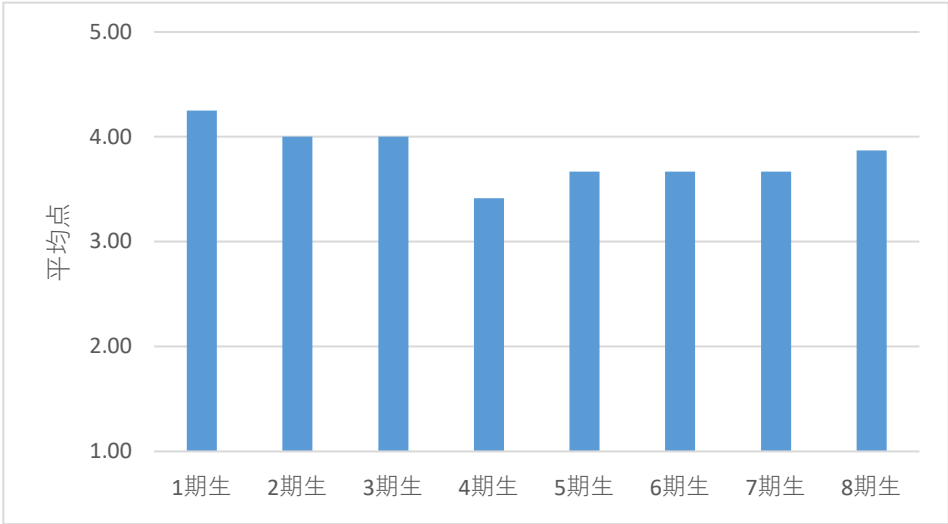


薬学部 経年比較（調査期間：2019～2024）

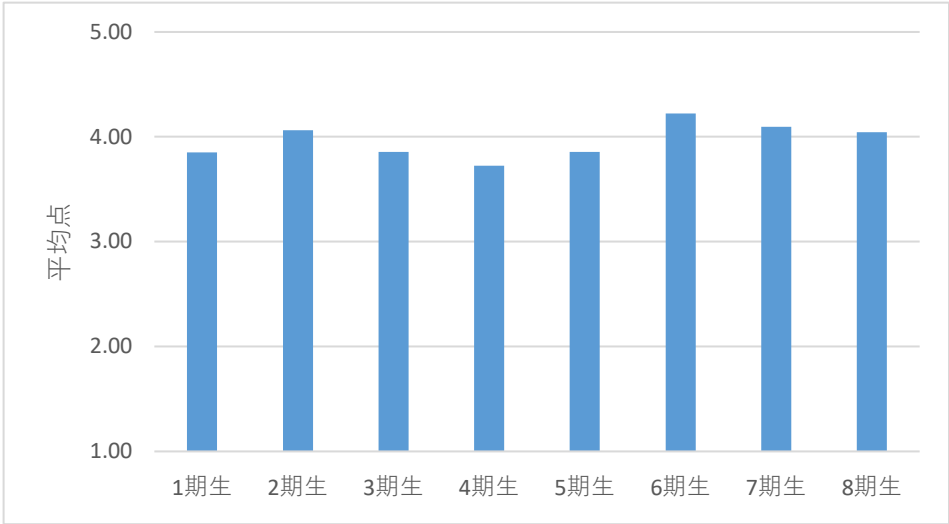
カリキュラムへの満足度

5段階評価（評価5：高評価 評価1：低評価）

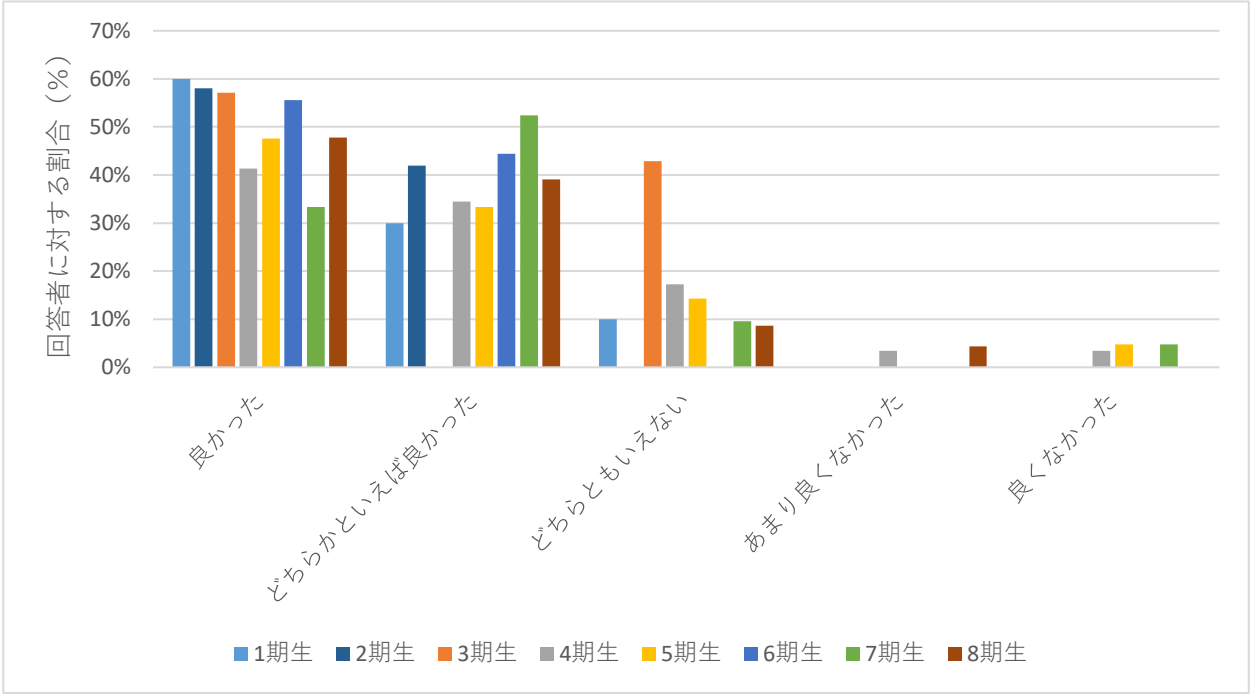


地域医療への貢献度

5段階評価（評価5：高評価 評価1：低評価）

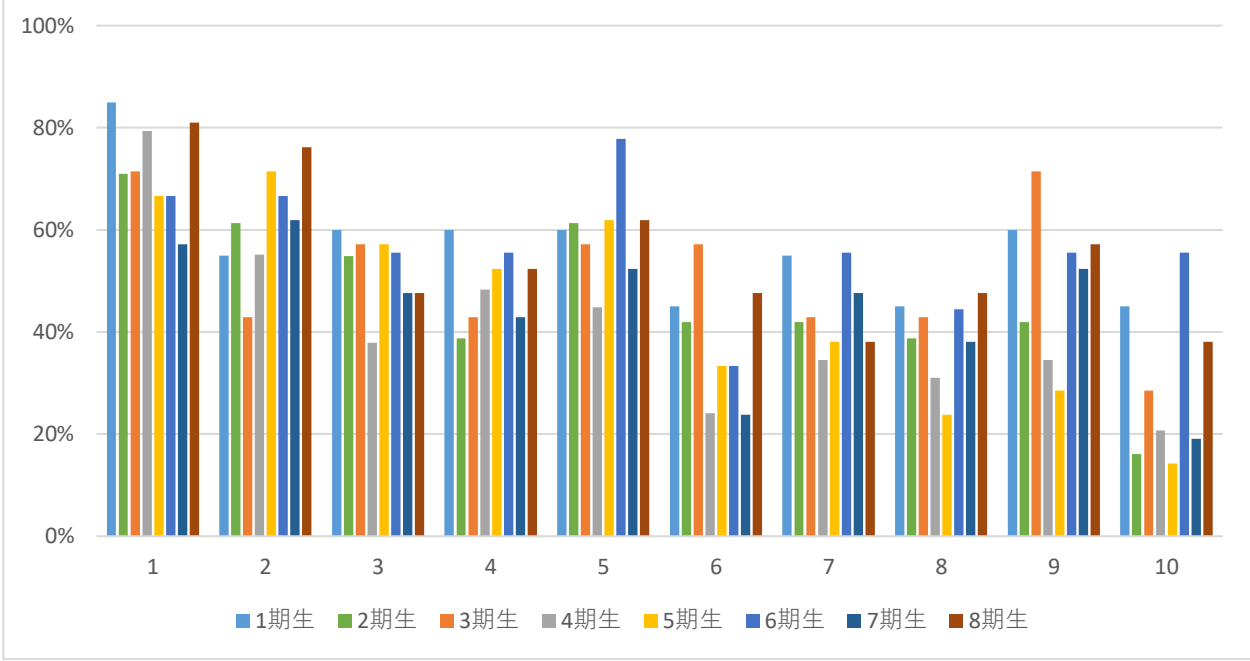


岩手医科大学を卒業して良かったか。



- ・カリキュラムへの満足度、地域医療への貢献度は、過去8年間を通して概ね肯定的な評価で推移している。
- ・大学への満足度は良好で、いずれの年度でも、岩手医科大学を卒業して「良かった」「どちらかといえば良かった」という回答が多い。

学修成果の達成度に対する自己評価（達成したと自己評価した学生の割合）



- ・学修成果の達成度について、年度によるばらつきはあるものの、過去8年間を通して「医療人としての倫理観」の達成率は比較的高く、「医薬品の適正な扱い」などがそれに続く。
- ・「次世代を育成する意欲」「ファーマシューティカルケア」などが比較的低く推移しており、就職先アンケート調査の結果と整合する。

1. 医療人としての倫理観を備え、患者・生活者の視点を考慮し行動する。
2. 医薬品を理解して適正に取り扱う。
3. 医薬品および関連する法規・制度、公衆衛生等について、医療人のみならず一般人にも分かりやすく適切に説明する。
4. 適正な医療の提供および国民の健康維持・増進のサポートに貢献する。
5. チーム医療において、患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。
6. 医療施設や地域におけるチーム医療に積極的に参画し、相互の尊重のもとにファーマシューティカルケアを実践する能力を有する。
7. 薬学・医療の進歩と改善に資する研究を遂行する意欲とそれを実践するための基本的な知識・技能・態度を有する。
8. 医療における問題点を抽出し、科学的・論理的に問題解決を実践する意欲と態度を有する。
9. 薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯学習を実践していく意欲と態度を有する。
10. 次世代を担う医療人を育成する意欲と態度を有する。